

## 現地検討会 主な概要

開催日時：令和6年11月27日（水） 11：10～12：40

開催場所：三好市東祖谷 栗枝渡国有林 68 林班

参加者：徳島県、三好市、森林整備センター、徳島森林づくり推進機構、森林組合、林業関係事業者  
四国森林管理局計画課・資源活用課、香川所、嶺北署、高知中部署、徳島署  
（全 51 名）

当日は、現地に集合し、資料説明後実施箇所（林内）を確認したうえで意見交換を実施。

### ○主な意見等

Q：誘導伐には帯状伐区で縦方向とする場合と横方向とする場合、そして群状伐区が考えられる。今回は、縦方向と横方向を別々の区域で実施しているが、地形等の条件による伐区設定についてどう感じたか。

A：伐区が縦方向の場合、伐倒・集造材は列状間伐と同じ感覚で実施できた。

また、帯状伐区の縦方向と横方向では、現地条件によるので一概にどちらが良いかは言えない

Q：次期（十数年後）に残存木を伐倒する場合、隣接する今回植栽した下層木を傷付けることが考えられるが、作業に影響はないか。

A：伐区が横方向の場合は気を遣いながらの伐倒となると思うが、それほどの影響はないと思う

Q：伐区設定にあたり、比較使用した機器ではどれがよかったのか

A：比較した結果は、精度的にはコンパスがよかった。操作性ではマブリが良かったと感じており、現在四国森林管理局で保有しているため、今後も色々検討しながら使用していきたい。また、各署でも様々な条件の下で複数の機器を用いて検証していくべきと考える



誘導伐実施箇所（帯状縦方向伐区）



意見交換



林内の確認



担当者による説明